

令和7年度 萩市自立支援協議会 実績報告(こども支援部会)

こども支援部会では、障がいのあるお子様とご家族が、地域で安心して生活し、適切な支援を受けられる体制づくりに取り組んでいます。

1.児童クラブと放課後等デイサービスの連携強化

・これまで、児童クラブと放課後等デイサービスを併用する保護者にとって、両者の利用調整(スケジュールの確定時期のズレなど)が大きな不安要素となっていました。

【課題】

・児童クラブと放課後等デイサービスの利用日の確定時期が異なるため、保護者にとってスケジュール管理や申請手続き等が煩雑になっていました。

【対応】

・市子育て支援課、福祉支援課および各事業所が連携し、スケジュールの相互共有体制を構築しました。

・利用確定日を事業所→児童クラブにすること。そして、利用日を共有する流れを明確にすることで、保護者の心理的・事務的負担の軽減を図りました。

2.放課後等デイサービス事業所間の連携と利用適正化

・市内3か所の放課後等デイサービス事業所と連携し、サービスの質向上と円滑な受け入れ体制を整備しました。

【利用状況の適正化】

・複数事業所を併用するケースにおいて、支給量に基づいた適正な利用が行われるよう、関係機関による合同の利用状況見直し・整理を実施しました。

【事業所間の連携、年度移行時の円滑な受け入れ体制整備】

・合同事業所見学会の開催:年度替わりの進級進学に伴い、新規利用希望者向けの合同見学会を調整。利用者がじっくりと比較・検討できる機会を提供するとともに、事業所側の受け入れ準備の効率化を図りました。

・利用希望が集中する年度当初に向け、市内事業所間での事前協議の場を設置。

・各家庭のニーズ変化に対し、地域全体で柔軟かつスムーズに対応できる体制を整えました。

3.今後の展開

・これまでの取り組みを通じて、関係各課および事業所間の「顔の見える連携」が深まり、利用者・事業所双方の利便性が向上しました。

・今後は、これらの連携フローを「萩市標準の仕組み」として継続・定着させるとともに、見学会等を通じて把握した「潜在的な支援ニーズ(医療的ケア以外を必要とするケース等)」についても、現行の事業所整備状況でどのように支援していくか、引き続き協議を進めてまいります。